

JJ1017 ver3.4 (2024) バージョンアップ 改定内容

■ 今回の改定について

2024 年診療報酬改定に伴い新しい検査方法や製剤の保険適応があったので、関連するコードを新規に追加し、JJ1017 Ver3.4 (2024) へ改定する。

■ JJ1017 Ver3.4 本文について

① JJ1017 指針の歴史へ追記

1.2 JJ1017 指針の歴史の項へ追記 (P.6)

今回おこなった改定内容とバージョンアップした経緯を記載した。

(本文に追記)

2015 年に我が国でも初めて診断参考レベル (DRL : Diagnostic Reference Level) が公表されたことにより医療被ばくへの関心が高まっているとともに、2020 年の医療法施行規則改正において、放射線診療を受ける者の放射線による被ばく線量管理及び記録、被ばく線量の評価及び被ばく線量の最適化が求められるようになったことを踏まえ、今後、それぞれの医療施設において線量情報のデータ分析を行っていくうえでの留意点について明文化を行った。また、姿勢体位について拡張領域の変更、別表のフォーマット見直し、本指針を使用する上での注意事項を記載した。本改定では、2020 年診療報酬改定への対応、項目追加に加え本文等の変更を行ったため、JJ1017Ver3.4 へ改定した。

その後、2022 年、2024 年診療報酬改定の実施に伴い、新しいコードを追加した。

② JJ1017 委員会委員名簿

9.12 JJ1017 委員会委員名簿へ追記 (P.38)

今回改定するにあたり協力を頂いた方々を記載した。

(本文に追記)

9.12 日本放射線技術学会 標準・規格委員会 JJ1017 班 JJ1017 Ver.3.4 (2024)
(所属は 2024 年 9 月 7 日現在)

◎山本 剛	大阪けいさつ病院	◎班長
坂本 博	東北大学病院	
横岡 由姫	量子科学技術研究開発機構 QST 病院	
曾根 将文	町田市民病院	
谷川 琢海	北海道科学大学	

[策定協力者]

日本放射線技術学会 医療情報部会
(敬称略)

■ JJ1017 Ver3.4 本体コード部について

① 別表 1 B_手技 (大分類)

- 新規コードの追加

気管支バルブ留置術 : 3Y

経皮的腎 (腎盂) 瘻ろう造設術 : 4S

② 別表 1 D_手技 (拡張)

- 新規コードの追加

18F-fluciclovine (18F-フロシクロビン) : LL

以上